### (別紙様式)

# 中山間ふるさと・水と土保全対策事業中山間ふるさと・水と土保全推進事業

## 事業実施計画

計画期間:令和5年度~令和9年度(令和5年度)計画内容

- 1. 事業実施の基本方針
- 2. 事業計画
- 3. 事業実施の成果目標と実績
- 4. 事業評価と対応 秋田県

#### 1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和9年度				
現状と課題	<ul> <li>〈現状〉     ・県内の農山村地域は少子高齢化、過疎化の進行が顕著で、地域コミュニティの低下や担い手不足などにより農地等の維持管理機能が低下し、荒廃農地が増加している。 (荒廃農地の増加:510ha→736ha) ※【荒廃農地調査2016 → 2021】     ・農業所得及び農外所得が減少するなか、総農家数(49,048戸→37,116戸)も減少し、高齢化率(33.8%→37.6%)が進行している。※【農林業センサス2015 → 2020】     ・都市住民のニーズが多様化し、美しい自然や田薗風景などが求められるとともに、農業体験の場や安全・安心な農作物等の提供など中山間地域への期待が高まっている。     </li> <li>〈課題〉     ・耕作放棄地の予防や農家の担い手不足等を解消に繋がるよう、中山間地域の農地の有効活用を促進する支援を行っていく必要がある。     ・里地里山は、美しい景観・歴史や文化の伝承など有形・無形の貴重な財産を多くの県民にもたらしており、それを維持する地域づくり活動等を支援していく必要がある。     </li> <li>今後増加が見込まれるインバウンド需要や旅行者のニーズの多様化に対応する受入態勢の整備や情報発信の強化が必要である。</li> </ul>				
事業実施の 基本方針	<ul><li>・中山間地域の農業</li><li>・「田園回帰」の流</li></ul>	策全体を網羅する基本計画「新ふるさと秋田農林水産ビジョン(R4〜R7)」を元に、次に揚げるものを重点項目として実施する。 に観光や教育等の他分野を組み合わせることにより、新たな農村ビジネスの創出と交流人口の拡大を進める。 れを捉えて移住就農の拡大を進めるとともに、半農半Xなど新たな兼業スタイルの普及により、農山漁村地城への定住等を促進する。 多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動等による適切な保全管理を進める。			
計画後の 目指す姿	・中山間地域ならではの農業・農村ビジネスの振興や、半農半Xなど新たな兼業スタイルの普及により、関係人口や定住人口の拡大が進むなど、多様な人材が活躍する農山漁村の実現を目指す。				

#### 2. 事業計画

事業(取組)名	事業(取組)内容	達成すべ き目標 との関連	事果夫他			5ヶ年間の事業(量)内容			総事業費	
地域住民活動の活性化に資する人材の育成	県・市町村担当者、ふる水指導員等に対してふる水基金全国 研修会等への参加支援や県内研修会を開催する。	3	ふる水 第3-2-(2) 棚田 第3-2-(1)	2-(2) 地域住民活動の活性化に資する人材のスキルアップ、ネットワーク構築等のために年 1 回以上、全国研修会等への参加支援、県主催研修会の開催を行う。						
あきたの農山村を支 える活力創造事業	地域の食や伝統文化、里地里山や水辺環境などの地域特性を 生かした都市との交流活動、伝統野菜などの地域特産物の生 産及び加工・販売までの6次産業化などの農村資源を生かし た取組等、地域住民が主体となった取組を支援し、農山村地 域の活力を創出する。	1.2	ふる水 第3-2-(1) 第3-2-(2) 第3-2-(3)	- (1) - (2)   交流活動等を通して地域の活性化を図る取組を実施するため、主体的な活動を行う団体を募集し、県のモデル事業として5ヶ年で15地域実施する。						
棚田の保全及び地域の振興	県独自事業「守りたい秋田の里地里山50」や棚田地域振興法 に基づき、棚田の保全及び棚田地域の振興につなげる。	1.2	棚田 第3-2-(1) 第3-2-(2) 第3-2-(3)	2-(1)  -2-(2)    県独自事業「守りたい秋田の里地里山50」の認定地域や棚田地域振興法に基づき、地域協議会の設立及び活動を行おうとする棚田地域を5ヶ年で5地域支援する。 13,000						
普及啓発	農村の持つ多面的機能の発揮、地域住民活動の活性化、棚田 地域の保全活動の活性化を図るため、フォトコンテストやパ ンフレット・ホームページの作成、各種イベント等への参加 などにより、県内外にPRする。	1.2	ふる水 第3-2-(2) 第3-2-(3) 棚田 第3-2-(1) 第3-2-(2)	-2-(2)   -2-(3)   フォトコンテストやパンフレット・ホームページの作成等により、適宜情報発信を行う他、年1回以上、各種イベント等へ参加し、PR活動を実施する。   59,497   -2-(1)						
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 	令和9年度	-	
中山間ふるさと・水と土 保全対策事業			計画事業費	15, 057	14, 600	14, 200	13, 800	13, 400	71, 057	
(ふる水と土基金) 中山間ふるさと・水と土 保全推進事業 (棚田基金)			(実績額) 計画事業費 (実績額)	5, 440	5, 500	5, 500	5, 500	5, 500	27, 440	

#### 3. 事業実施の成果目標と実績

	達成すべき目標	七十	甘淮店	日捶仿	年度ごとの実績				'* c* c*	/#. #v.	
		指標基準値		目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成度	備考
1	地域資源を生かした多様な農村 ビジネスの促進	新たな農村ビジ ネス取組数	12 (累積)	12 (累積)							
2	交流人口の拡大	累計農村関係人口数	11, 200人 (累積)	11, 200人 (累積)							
3	新たな兼業スタイルによる定住  の促進	農村地域づくり 活動サポート人 材確保数	40人 (累積)	40人 (累積)							

#### 4. 事業評価と対応

達成すべき目標		事業実績の評価						
		外部有識者の所見 所見を踏まえた改善方針						
1	地域資源を生かした多様な農村 ビジネスの促進							
2	交流人口の拡大							
3	新たな兼業スタイルによる定住 の促進							